

第65回東京消防庁開庁記念式 消防行政特別協力章等各種表彰を授与

東京消防庁消防学校にて

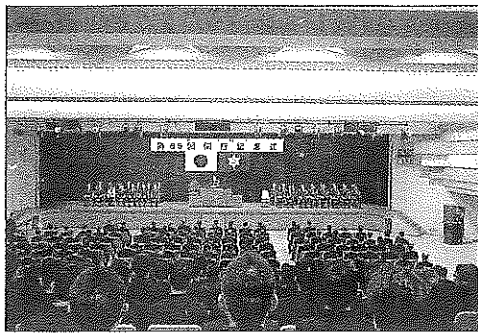
東京消防庁では、去る三月五日午前十一時より、渋谷区西原二丁目東京消防庁消防学校にて「第65回東京消防庁開庁記念式」を挙行政した。

式は定刻に始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙祷が行われた。

この後、北村吉男消防総監から消防行政特別協力章や年間業務実績優秀者等の表彰が行われた。代表受領者は次のとおり。

〔感謝状贈呈・表彰状授与〕

- ▽消防行政特別協力章等受章者 一三名
 - ・東京都メデイカルコントロール協議会 行岡哲男
 - ・東京都メデイカルコントロール協議会 救急処置基準委員会 佐々木勝
 - ・東京消防機器研究会 小林虎太郎 (小林防火服協会会長)
 - ・麹町消防懇話会 泉邦夫



北村消防総監の式辞



特別協力章を受賞する小林虎太郎氏

▽消防総監賞

- ・特別区・渋谷消防団団長 石田昭夫
- ・多摩地区・八王子消防団団長 浦邊博
- ▽消防総監特別賞 一八名
 - ・昭島消防署 消防司令 富田武広

この他、年間業務実績優秀消防総監賞、年間活動実績優秀消防総監賞(警防活動実績優秀大隊、救急活動実績優秀小隊)、産業医、

用地提供者、消防少年団長、救急業務協力者、消防関係協力団体役員、その他の協力者、消防設備士、危険物取扱者、防火管理者、自衛消防隊等、多岐にわたって表彰された。

北村消防総監式辞

この後、北村消防総監が式辞「只今表彰状と感謝状を贈呈いたしました。長年にわたり消防行政にご協力いただいた方、成績優秀な職員等でありました。

東京消防庁は昭和二十三年三月に消防組織法の改正により発足しました。当時は四四署、七、四〇〇名の職員でした。

その六五年後の今日は八一署、一八、〇〇〇名の職員です。今や世界屈指の消防に発展しました。これも都民及び先人のご尽力の賜で深く感謝いたします。

当庁では今後の首都直下地震や南海トラフ地震に備え、八王子にハイパーレスキュー隊を発足、またNBC災害にも対処していきます。

秋には東京国際防災展、消防団一二〇年・自治体消防発足六五周年記念大会を予定しています。職員は都民の負託にこたえるよう自己研鑽して下さい」と述べた。

次に来賓祝辞に移り、最初に山加朱美東京都議会警察・消防委員会委員長が、「東京消防庁はこの六五年間めざましい発展を遂げ、都民生活の安全、安心に一致団結し献身的に職務に精励してきました。今後とも都民の安全のため一丸となつてご尽力下さい」と述べた。

つづいて、関口和重(公財)東京防災救急協会理事長が、「東京消防庁は誕生以来、今日まで東京の安全を守りました。私共も今後は東京消防庁と緊密に連携を図り、防災力の向上のため、尽力いたします」と述べた。

ここで来賓紹介があり、小寺三雄(勲)東京消防懇話会事務局長、秋山恵東京消防信用組合理事長、萩原光司(公財)東京連合防火協会専務理事、佐藤直記(勲)東京防災設備保守協会理事長、伊藤克巳(勲)報恩会社長、晦日正(勲)東京消防協会事務局長が紹介され、その後、東京消防歌を斉唱し閉式した。

報恩会社長、晦日正(勲)東京消防協会事務局長が紹介され、その後、東京消防歌を斉唱し閉式した。

東京消防懇話会総会懇親会開催

原島会長退任、新会長に小宮元総監

東京消防庁幹部多数迎えスクワール麹町にて

東京消防懇話会では去る二月二十日にスクワール麹町にて総会及び懇親会を開催した。

総会では会計報告と会長交代が決議された。現会長の原島榮一氏は昨年会長に就任したばかりであったが、この度、健康上の理由で退任し、後任には小宮多喜次元消防総監が選任された。

その後、午後五時三十分より懇親会に入り、小宮新会長が挨拶、「この度会長に選任されました。本日は百一歳になられた飯田清さんがおいでになっています。元気でなければと思ひます。原島会長も健康上の理由で顧問となりました。この一年間、副会長の井田さんが頑張ってくれました。

今日は、北村吉男総監、大江秀敏次長さんら多くの幹部を迎えておりますので、いろいろと現役の方と懇親や情報交換等を図っていただきたいと思います」と述べた。

次に来賓の祝辞に移り、北村消防総監が、「今、小宮新会長様のお話のとおり、先輩方のご指導、ご意見をお願いいたします。

嬉しい話としまして、都の水道局と木造密集地の防火の件で排水栓活用で初期消火対策を推進してまいりましたが、この度、都知事スピリット賞を受賞しました。また当庁の八名も行政功労等で受賞しました。

もう一点は東日本大震災等に鑑み、第九方面にハイパーレスキュー隊が本日発隊しました。

来年度予算は二、四三九億円で事業費が前年度の二・九%増となりました。復活予算は五億円で一四%増です。

震災対策の拡充では、特別区の団長会を開き、消防職団員の連携を確認しました。処遇改善を行っていきます」と述べた。

この後、大井久幸顧問の音頭で乾杯が行われ懇親に入った。正に消防一家の雰囲気と和やかに歓談が行われ、最後に大江次長と井田三郎副会長がそれぞれの万歳を三唱して散会した。



小宮新会長の挨拶